

離島 島地区の町政懇談会が9月27日、28日の日程で、両島の総合研修センターにおいて開催されました。町政懇談会は地域におけるご要望などを、町長とひざを交えて意見交換する場として、離島地区においては毎年実施されています。

今年度は天売地区13名、焼尻地区16名の住民のみなさんが参加。役場からは町長をはじめ、課長など10名が出席しました。

町政懇談会にはまず町側から「財政状況」や「指定管理者制度」、「防災」、「島づくり人材養成大学」、廃車を引き取り時業者に渡す際のフェリー運賃を補助する、自動車リサイクル法離島支援事業などについて説明したあと、フリートーキングで意見交換がされました。

また、両島ともに町政懇談会に先立って、児童施設や各学校の表敬訪問や公共施設の現地調査なども行われました。



町政懇談会に先立ち、児童施設や各学校の表敬訪問と、公共施設の視察が実施されました。

離島地区「町政懇談会」が実施されました

平成17年9月27日(火)～28日(水) 焼尻・天売総合研修センター



焼尻めん羊牧場

焼尻地区意見交換内容(抜粋)

質問 自動車リサイクル法離島支援事業はありがたい事業だが、既に放置された自動車はどのように対応するのか。

説明 現在島内には30台位の自動車が放置されている。今年6月の区長会議でも、廃屋も含めて所有者の特定が難しく結論に至らなかった。

天売地区意見交換内容(抜粋)

質問 放置自動車については、まず自動車会社に確認してリサイクル法に該当するか判断してほしい。原則としては所有者、使用者の責任において処理するのが基本である。

説明 放置自動車全てを町で処理するという返事はできないが、観光地として大事なことだと思っている。早期に解決策を考えていきたい。



質問 合併協議は去年終わったが、また合併の話が再浮上することはあるのか。

説明 総務省の方針としては、また新しい法律の中で取り組んでほしいということだが、北海道町村会では連合自治体への道を模索しており、北海道が方針を打ち出す前に市町村の形を意見集約してまとめようと動いている。

今後、財政的に厳しくなる中で、どこまで自立していけるのか先行きが見えない状況としては、合併も視野に入れながら、連合自治体も選択肢に入れて考える時期が来年、再来年のうちに来ると思う。住民のみなさんの理解を得るために話し合わなければならない。

質問 労働力不足が深刻である。他町では外国人労働者を受け入れていると聞いているが、羽幌町でもそのような方策を考えているのか。

説明 焼尻でも同様に漁業就業者の高齢化による労働者不足が訴えられている。通年での雇用や住宅の関係など、難しい面があるが、必要があれば町としても関わりをもちたい。

質問 島は、選挙のたびに繰上げ投票になり、TV等で放送されるが、島がいかにも不便かをPRしているような感じがする。観光面からもイメージダウンである。

今は、FAXや電子機器があるので島内で開票できるようにならないか。

説明 開票はできるが、島内での限られた投票の開票結果が判るといふことで、以前話があった。今回の意見は、選挙管理委員会に連絡をする。